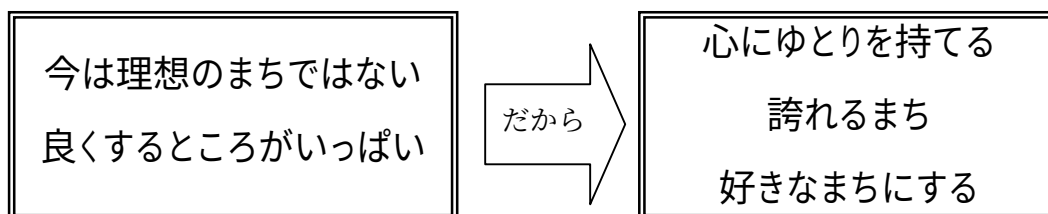


都市計画に関すること

1. 心にゆとりを持てる、誇れるまち、好きなまちにする

都市計画面からみたまちの将来像を検討するに当たって、寝屋川市の「良いところ」「悪いところ」を議論する中で、考え方のベースを見つけました。それは、



でした。

今は理想のまちではなく、いろいろ問題もありますが、「飲んで終電のがしても大阪都心からタクシーで帰れる」大阪都心に近いまちという良いところがあるので、交通至便な生活都市・一番の生活都市を目指してはどうか、という意見が出されました。

では、一番の生活都市にするにはどうしたらよいか。

議論が進むにつれ、いろんな課題はあるが、こうすれば好きなまちになるのではないかという基本的な方向・考え方が浮かんできました。

新しいものは要らない、今あるものを整理整頓

まちづくりでひとづくり

寝屋川市は、未着手の都市計画事業が残っており、事業の緊急性や市の財政を考え合わせながら、着手していく必要があります。ただし、新たな箱物の整備は不要（新しいものはいらない）で、都市基盤についても部分的ではありますが整備が進んでいます。これらのことから、今あるものを十分生かし、うまく使いこなすことによって、まちの環境を変えていくことが一番の生活都市への近道ではないかという結論を得ました。

また、今あるものを十分生かし、うまく使いこなすためには、使い手である市民が、まちづくりを理解し、まちづくりに参画していくことが重要であるという考えも出されました。寝屋川市民が皆そう考えるようになるためには、まちづくりを進めながら、まちづくりの中でひとを育成していくことが重要であるという2つめの結論を導き出しました。

具体的なまちづくりアイデア事業の検討では以上の2点をベースとして様々な議論をしました。

2. 都市計画からみた寝屋川市の良いところ・悪いところ

主に都市計画からみた寝屋川市の良いところ・悪いところをWS方式でとりまとめました。

(1) 地域資源の活用（商業）

良いところ	悪いところ
● 居酒屋が多い ● ファーストフード店が多い ● 駅前に施設（お店）がたくさんある	● 魅力ある施設がない

(2) 地域資源の活用（施設）

良いところ	悪いところ
● 図書館、市民に開かれている（開館時間長い、講座など） ● 福祉が比較的充実している ● 大学が複数存在（3つ） ● 公共施設がバラバラにある	●

(3) PR

良いところ	悪いところ
● マスコットキャラクターがある	● マスコットキャラクターを活かしていない ● ブランド力の不足（名物・名所がない）

(4) まちの特徴

良いところ	悪いところ
● 生活都市 便利	● 密集住宅が多い ● 用途地域を十分に利用されていない 住・商・工・遊

(5) 市民活動

良いところ	悪いところ
● 市民参加できる場面多い ● 市民ボランティアで子どもを守ってくれている ● ボランティア活動している人が多い ● 安全に対する意識が高い	●

(6) めざす方向

良いところ	悪いところ
● 心のゆとり ● 誇れる街、好きな街にする	● 理想でない ● 未整備の部分が多い都市 ● 何から手を付けていくかが興味あり ● 道路には街路樹と道路標識しかない街 ● 電柱は地下に設ける

(7) ゴミ問題

良いところ	悪いところ
●	● ゴミの多い町が多い。 ● 街の発展はゴミのない、放置自転車のない街づくりから。 ● 向こう三軒両隣方式でゴミ拾い ● ゴミのポイ捨て（畑、公園、駅周辺）

(8) 自転車のまち

良いところ	悪いところ
●	● 自転車が多い ● バス少ない ● 放置自転車

(9) 交通・道路

良いところ	悪いところ
● この部会を三人寄れば文殊の知恵にした ● 道路の整備とバス網の整備 電気自動車 ● 平池＝自転車	● 歩道がガタガタ ● 車優先の道路（歩行者・自転車は追いやられている） ● 狭い道路 ● 道路の幅に差がある（大きい道と小さい道との差） ● 道路（歩道）幅が狭い ● 公共交通機関（特にバス）が充実していない ● 交通の便が悪い所がある

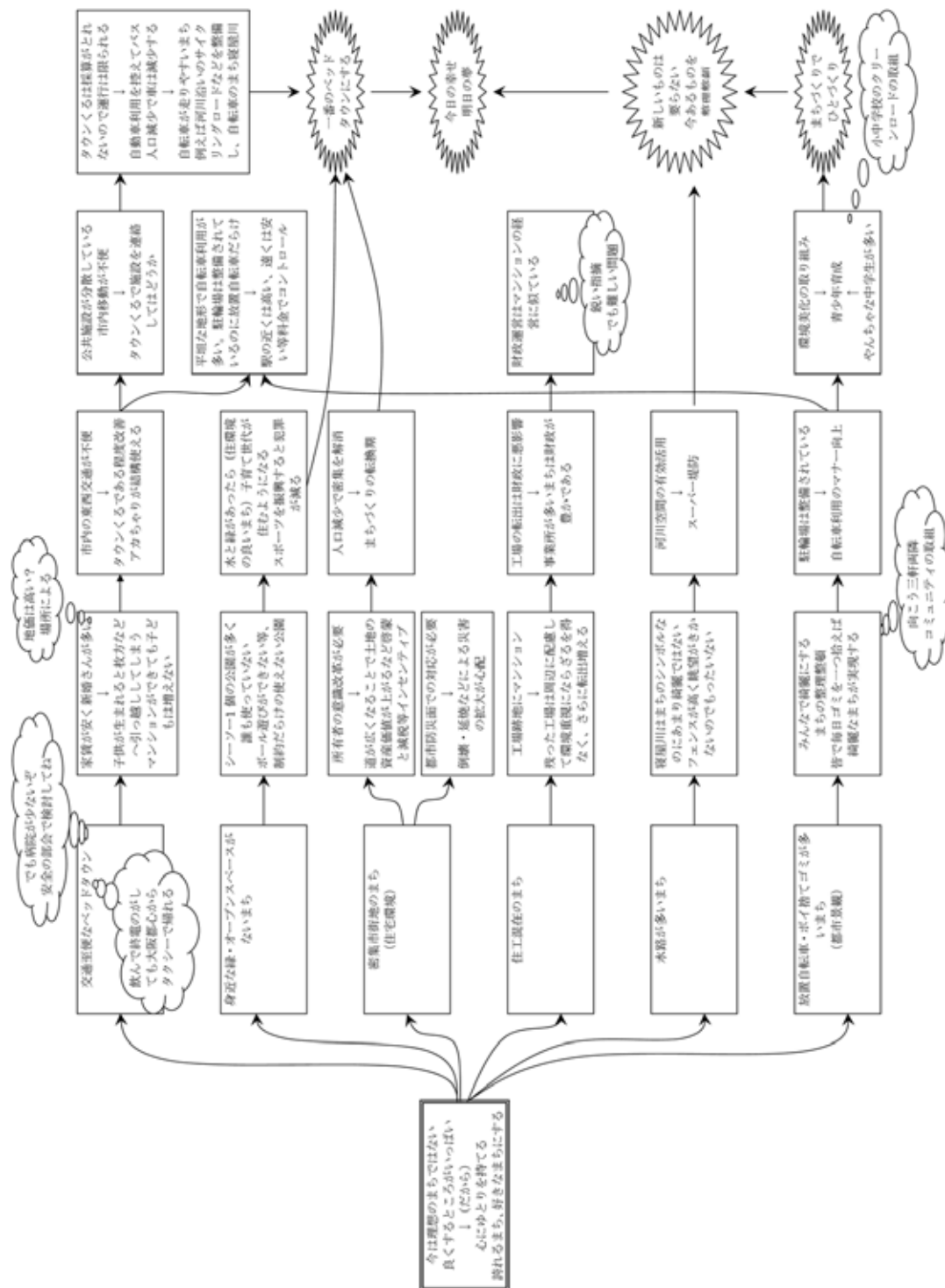
(10) 自然・地域資源の活用

良いところ	悪いところ
●	● ボール遊びできる場所が少ない ● いこいの場少ない ● 緑が少ない ● 自然を活かしていない。子どもだけで出歩けない道路 ● 未来の市民づくり。子どもがのびのびと遊べる場所づくり

(11) その他

良いところ	悪いところ
● 手作り学校給食	●

出された意見を、意見相互の関係性から再整理すると下図のようになりました。その中で、「今は理想のまちではない。良くするところがいっぱい。だから、心にゆとりを持てる、誇れるまち、好きなまちにする」という命題と「交通至便な生活都市」「身近な緑・オープンスペースがないまち」「密集市街地のまち（住宅環境）」「住工混在のまち」「水路が多いまち」「放置自転車・ポイ捨てゴミが多いまち（都市景観）」というテーマが浮かび上がってきました。



3. 「心にゆとりを持てる、誇れるまち、好きなまちにする」ための方向性

(1) 住宅関連

課題

- (1) 若い世代（ファミリー）が安心して暮らせる住まいの確保
- (2) 高齢者世帯が安心できる居住環境の確保
- (3) 適切な住情報の提供
- (4) 密集住宅の整備

取組み

- (1) 若年（ファミリー）層が安心して暮らせる住まいをつくる
 - ・ 同じ子育て世代が交流出来る場（公園等）や保育施設などの適正配置
 - ・ 公共交通の利便性を促進する
 - ・ 子育て支援サービス等との連携による住宅・住環境整備を促進する
 - ・ ファミリー世帯向けの市営住宅や特定優良賃貸住宅の供給に努める
 - ・ 職住近接の面から、SOHO 住宅の整備誘導（特に働く女性のため）
 - ・ 地域での子育てサポートネットワークの構築
 - ・ 子育て支援を行う NPO 等の活動スペースの確保
- (2) 高齢者が安心して暮らせる住まいをつくる
 - ・ 公共交通の利便性を促進
 - ・ バリアフリー化の促進
 - ・ バリアフリー化された高齢者用の集合住宅の供給推進
 - ・ 高齢者世帯向けの優良な賃貸住宅の供給促進
 - ・ 自宅での福祉サービスが受けられる居宅介護住宅の促進
 - ・ 公的住宅への入居の優遇（適正な管理）
 - ・ 公的住宅と福祉施設を併設
 - ・ 高齢者配慮型公的住宅の建設
 - ・ 民間借家への家賃補助
 - ・ 高齢者住宅改造費助成
 - ・ 高齢者住宅改造相談
 - ・ 高齢者の居住を拒まない住宅情報を広く提供するための制度づくり
- (3) 住情報の提供体制、相談体制を充実させる
 - ・ まちづくり関連の NPO を含めた各種団体と協力し、仕組みづくりを行う

- ・情報窓口の一本化

(4) 密集住宅の整備

- ・補助制度の活用（主要生活道路整備、木造賃貸住宅の建替えの等促進）
- ・密集住宅地域においては、防災意識に努める必要があるため、地域においてまちづくり協議会等の組織をつくり、啓発運動等を実施する
- ・1人1人の意識改革

★最終的には、安心して生活でき、住み続けられ、暮らしやすいまちが望まれる。その実現には、行政の施策の推進だけでなく市民と企業等が関心を持って、住まいづくりに主体的に参加することが重要であり、又、行政は積極的に情報を発信し、市民の参加と協力を呼びかけ、NPO等の市民活動団体に対しての協力依頼と積極的な支援・連携を図る必要がある。

◇意見交換

- 若い世代（ファミリー）が安心して暮らせるまちの条件として、住宅条件だけでなく、学校教育や青少年育成も重視される。
- 住宅バリアフリーは、新築住宅は当たり前になっているが、古い住宅は改築が進まない。特に3階建て住宅は難しい。
- 災害対策としては、周辺住民の居住者情報（要援護者）を共有しておくことが有効であるといわれているが、個人情報に触れることであるので、なかなか進まないようだ。

(2) 都市景観について

片側1車線もない道路には花壇かプランターを置いて、歩行者や自転車用の道路を造る。
ただし、車による通行の不便さは考慮していない。

屋上緑化を促す。

駅周辺を喫煙・ポイ捨て・駐輪禁止地区にしてもらい、見回り隊を行政と警察のバックアップ付きで結成し、駅周辺で屯している人々ごと退去を促すと同時に、駅の入口付近や駅周辺の店舗付近に駐めてある自転車の撤去を行う。

寝屋川からコンクリートを見えなくするように緑で覆う。

(3) 住工混在対策

1 現状

- (1) 寝屋川市内には、大企業はなく中小企業が混在している。
- (2) 中小企業が存在する中に、昭和 40 年後半からの高度成長期に、都市圏に近い環境もあり、区画整理や道路整備が不十分のまま、急激な住宅建設が進み、住工混在となった結果、住環境として余り良くないとの印象を与えている。その結果、相互の環境問題が工業発展の阻害要因になり、工業の市外流失が起きている。
- (3) 小規模企業が大半を占め、地域での雇用が少ない。
- (4) 現在実施中の開発等
 - ・ 香里園駅東地区再開発
 - ・ 寝屋川市駅東地区再開発
 - ・ 寝屋南 SC（大型商業施設と住宅建設）
 - ・ 第二京阪道路の建設等が実施中であるが、企業誘致には余り関係のないものが多い。

2 方策

- (1) 企業・自治体・住人が共同参画による、市民生活と工業の環境保全と振興が重要である。
- (2) 産業において中心となるものがないことから、企業誘致場所の確保と優遇策を考慮する必要がある。
- (3) 約 10 年前現在の寝屋川東部公園方面で工場誘致場所の計画もあったが、計画が途中で中止になった経緯があることから、長期展望に立った計画地域の策定
例えば、第二京阪道路沿線や老朽化しつつある府営点野団地改築時の用地確保等 ??
- (4) 住宅と工業地域とは、環境面で融和困難な点が多く、長期的に分離が望ましい。

◇意見交換

- 住工混在ではなく、共存できるように工夫する。
- 税の優遇制度などで新たな企業誘致を図る。
- 第二京阪の供用により、企業は黙っていても立地するのではないか。

(4) 自転車について

使われていない自転車置き場の有効利用

現在 駅近くに作られた市の駐輪所の中には有効に使われていない部分もある。

写真は萱島駅北側の駐輪所であるが、駅から少し離れたところになると ほとんど利用されていない。ここを無料の駐輪所にして 不法駐輪の自転車を減らすのに役立てないだろうか。

また、たとえば「不法駐輪除去 指導員」などを制度化して、ボランティアで不法駐輪車両を撤去したり、無料駐輪場に誘導できるようにしてはどうか。

自転車専用道路はつくれないか。

駅に近い駐輪所の状況



駅から少し離れた駐輪所の状況



◇意見交換

- レンタル自転車の普及によって不法駐輪をなくせないか。
- 自転車が安いので、撤去・保管した自転車を取りに来ない。市民マナーが不法駐輪をなくす。
- 駅から少し離れた無料駐輪場は、誰かが使い始めたら、広まるのではないか。

(5) 道路・公共交通

- ・ **都市の基盤**であり、**安全・安心を創出**するもの。
- ・ 人口減少、少子高齢社会→まちの活力を維持・向上する必要がある。
- ・ 寝屋川市の地形的な特徴＝平坦、山がない、市域面積が狭い
→これを活かす、**歩いて暮らせるまちづくり**
- ・ 環境への配慮、循環型社会への取り組み→**エコなまち**

市内の各エリアでの魅力を高めるとともに、活動しやすい空間づくりを行う。

それぞれのエリアをつなぐことが必要＝**ネットワーク、地域連携**

活動人員が少なくなる→活動量を上げる（一人ひとりの活動時間）

活動効率を上げる

道路や公共交通はそのための基盤となるもの

道路

○広域幹線道路：市域、府域を越えて、ネットワークをつなぐ道路網が必要。

第二京阪道路の完成で、一定終了か？

（第二京阪道路の有効活用）

○地域幹線道路：市の中の渋滞状況や、道路環境を改善する道路網の整備が必要。

○生活道路：快適な道路空間づくり

- ・ クリーンロード、アドプト制度（道路の清掃、街路樹や花壇の手入れ）
- ・ 道路空間の活用～ベンチの設置、井戸端会議できる場所
- ・ バリアフリー
- ・ 歩道を増やす、自転車道をつなぐ
- ・ 駐輪対策～地下駐輪場の設置、駅前のラック式の駐輪場の活用

公共交通

○京阪の特急、JRの快速停車駅へ

○連続立体交差事業、

○新しい鉄道駅の設置

○バス、路線網の新設・充実

○デマンドバス、カーシェアリング

○広域幹線道路を活用したバス路線の新設（空港行きなど）

○自転車の活用（レンタサイクル、電車への持ち込みなど）

◇意見交換

- 道路が良くなると市外へ出て行って買い物をするようになり、市内商業が廃れる。
- 市内の生活道路は私道が多いため、整備を進めにくい面があるのではないかな。

(6) 公 園

公園空間の有効活用を図る

(1) 公園でイベントを開催し、地域の活力向上

- 効果：高齢者のいやしの場、地域住民のコミュニケーションの場
- 主体：地域住民はもとより、寝屋川市に勤める人にも参加して貰い、役割を担って貰う
(cf.青年団が川に鯉のぼりを飾るイベントをして地域を盛り上げているところもある)

(2) 防災機能を位置づける

- 第1次避難場所として近隣の公園を位置づけ、子どもたちに、災害が起きたときの一番最初の避難場所として教える。

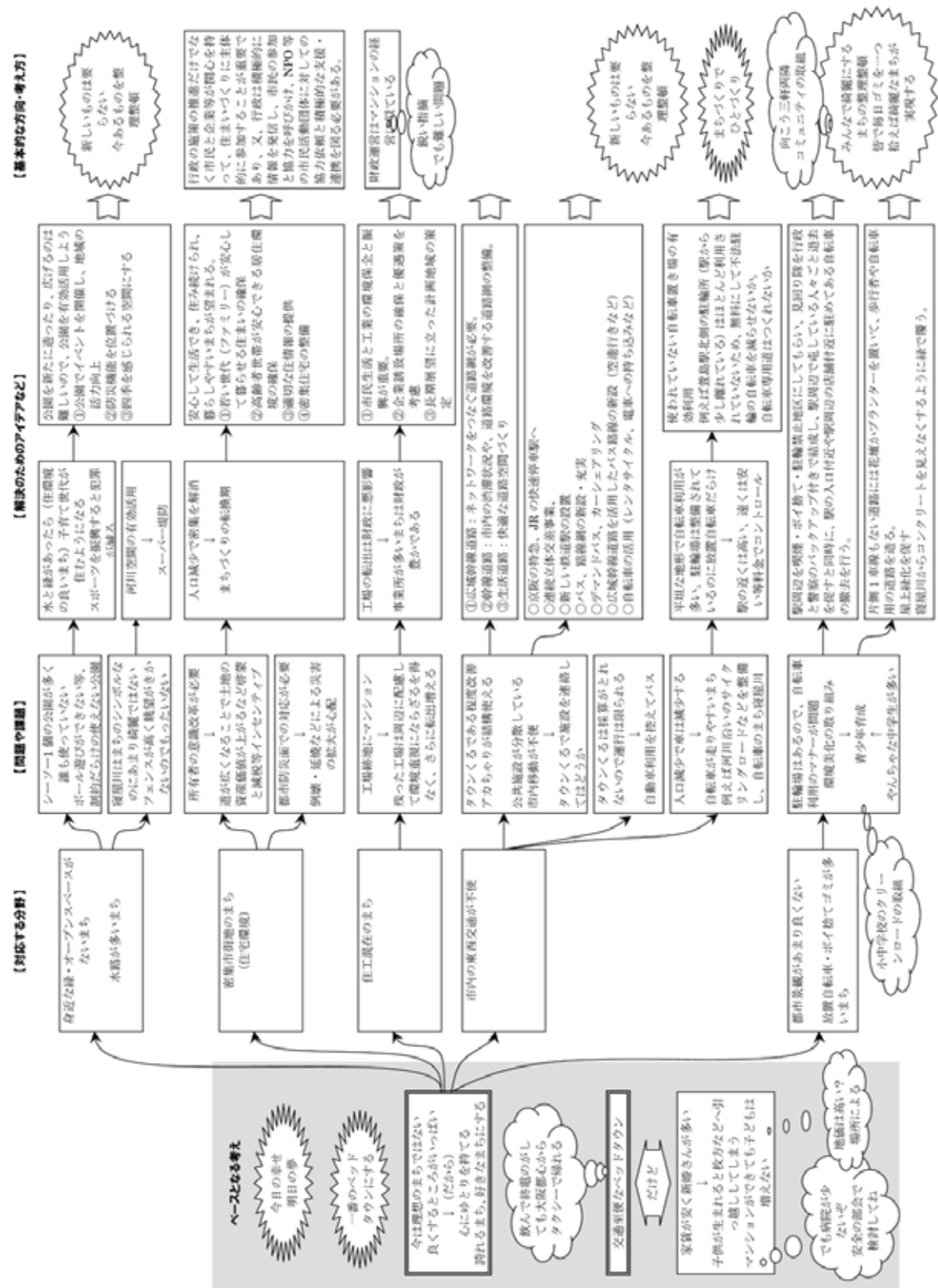
(3) 四季を感じられる空間にする

- 寝屋川は四季の匂いを感じないまち。東寝屋川は土の香りがするが、寝屋川市駅周辺は全く感じない。
- 公園に四季を感じさせる植栽を施して、寝屋川の季節感を演出する。

◇意見交換

- 商店街のポールに鯉のぼりをつるす、クリスマスツリーを飾るなど、商店街に様々な企画を提案したが、なかなか実現しない。クリスマスツリーは市の補助で実現したが、自己負担だけの事業は難しそうだな。
- 赤ちゃんの出生記念に、商店街の一角を利用して、手型・足型メモリアルコーナーを作れば、ふるさと意識が高まって、ずっと住み続ける人が増えるのではないかな。

以上の方向性を踏まえ、意見相互の関連図を再整理すると下図のようになりました。



4. 施策及びアイデア事業の提案と役割分担と協働の考え方

「心にゆとりを持てる、誇れるまち、好きなまちにする」にするためには、具体的にどんな活動をするか、そのときの役割分担をどうするかについて検討しました。

施策及びアイデア事業	役割分担と協働	
	市民の役割	行政の役割
景観に関する施策 ● これからの時代の市民ニーズは「豊かさ」 ● 電柱の地中化 ● ガードレール、柵等に植栽を覆うなど→特色ある景観が形成	● 自然・都市景観は、市民共有のものという認識を持つこと ● ゴミのポイ捨て、落書きをしない等、自らができることを実行する ● 景観の保全のためのボランティア活動にも積極的に参加する	● 市民参加の仕組みを取り入れた景観計画等を作る ● 市民の景観意識を高めるための啓発活動を実施
景観、道路の有効活用、安全安心		● 無電柱化を進められないか。
美しいまちなみづくり	● 花の手入れなど	● 緑化、花→ベンチの花壇の設置。
公共交通に関する施策		● バスの本数を増やし、待たずに乗れることを利用者に印象づけて利用者の増加を狙う ● 寝屋川市駅始発で大阪方面行きの列車の設定を京阪電車にお願いする
自転車置き場の有効利用	● 市民もどんどん利用していく	● 使われていない駐輪場を無料で開放する
エコなまち、公共交通の充実	● バス・自転車の活用	● 自転車を利用したまちづくり。 ● 自転車道の整備。 ● レンタサイクルの充実。 ● タウンくるの充実。
歩いて暮らせるまちづくり	● ごみひろい。街路樹や花の手入れ。	● 歩道の整備。段差の解消。バリアフリーなど。
人を呼ぶ仕掛け作り。		● 駅前の公衆トイレなど（観光、ブランド）
放置自転車対策		● 放置自転車を撤去できる人をつくる。
寝屋川らしいまちづくり	● 良さを見つけ出して PR する。	
まちづくり全般	● 今現在有りの箱物、道路の使い方で大分街中が変化する。今あるものを上手に使う。今あるものを見直す。 ● 人づくり、リーダーづくりが大切。	
小さな公園	● 財源は行政が補助するとしても管理は自治会等に委託し、MY 公園の意識を高める方策の推進。	● 防災機能の確保。
寝屋川せせらぎ公園 ● もっと市民が利用したくなる公園になるため・・・。	● 読書したり、虫を捕ったり、休んだりできるようになる。（積極的に利用する）	● 樹木を植え、林を作る。

施策及びアイデア事業	役割分担と協働	
	市民の役割	行政の役割
公園に関する施策	● 公園の利用を促進する為の企画を実行する（運動、お祭り、イベントなど） ● 公園のメンテナンス、植物の世話、ゴミ掃除	● 公園の証明を夜間は消して若者がたむろしないようにする。
公園を活用し子どもが遊べる環境を創り出す。		
安全・安心なまち	● コミュニティづくり。向こう三軒両隣。	● 道路の拡幅。 ● 密集の整備。
密集市街地対策		● 密集市街地を整備することは、防災面でも重要であるので、所有者の理解・税制面等によりまちづくりを推進する。
まちの賑わい創出 ● ワンストップショッピングの時代は避けて通れない。	● 商店街整備・商業者の意識の切り替え。	
自然エネルギーの活用 ● 川で水力発電、河原でソーラー発電等		
リサイクルの強化		● カン、ビンなどの回収システムを行政で用意する

【その他】

- 人・物・金の時代においては、少子問題の解消が全てのまちづくりの原点→長期的なまちづくり
- 寝屋川のまちで可能かどうか。→安全対策からめていけるか→一方通行化などの方が可能

5. 提 言

◆分野に対する考え方

市民と行政の協働により、今あるものを有効活用し、安全・安心でゆとりと活力にあふれた生活都市の実現

終電を逃してもタクシーで帰ることができる大阪都心への近さという魅力と、これまで整備してきた都市基盤を最大限活用して、きれいでエコで便利な都市環境を創出する。

◆提言内容

1. 不法駐輪をなくし、快適で安全ですっきりした道路空間を創出

駅周辺は駐輪場が整備されているにもかかわらず不法駐輪が跡を絶たないため、歩行者の安全な通行を阻害し、まちの景観を損ねている。このため、次のような手法を組み合わせることで、不法駐輪を解消し、快適で安全ですっきりした道路空間を創出する。

- ① 萱島駅北側の駐輪所など駅から少し離れているとほとんど利用されていないため、無料にして不法駐輪の自転車を誘導する。《協働》
- ② 「不法駐輪除去 指導員」を制度化して、ボランティアで不法駐輪車両を撤去したり、無料駐輪場に誘導できるようにする。《協働》
- ③ レンタサイクル・ステーションなどの整備により、「Myサイクル」から「レンタサイクル」に乗り換えて貰うことで、自転車総数を抑制するとともに、自転車の所有者と保管場所を明確にし、不法駐輪が発生しないようにする。《協働》

2. 水と緑の空間が子育て世代を呼び込むまちづくり

子育て世代は水と緑が豊かなまち（住環境がよいまち）を求めている。寝屋川市には、まちのシンボルである“寝屋川”をはじめとする大小の河川・水路網と、ちびっこ広場から総合公園まで様々なタイプの公園・緑地がある。これらの資源とストックを“水と緑と四季を感じる都市空間”として有効活用することでまちの魅力を高め、子育て世代が住みたいと思うまちにする。

- ① 公園で市民手作りのイベントを実施し、人を集め、公園を積極的に利用する。成田不動尊のラジオ体操のような名物広場づくり。《市民主導》
- ② 公園の管理を利用者と近隣住民が主体になって行うことで、誰もが気持ちよく、きれいに使える環境づくりを定着させる。「My公園」《市民主導》
- ③ せせらぎ公園など利用者が少ない公園は、利用しやすくなるようなアイデアを取り込み、人気公園にする。《協働》
- ④ 災害時の一時避難場所とすることで、避難場所がたくさんある安全のまちイメージを創る。《協働》
- ⑤ コンクリート3面張りの河川を自然に近い状態に改修する。《行政主導》

3. 美しい街並みづくりとまちのイメージ向上

市民と行政が協働でまちの環境美化に努め、「きれいなまち寝屋川」のイメージを定着させる。

- ①行政は公共空間の緑化を積極的に進め、市民は植栽の管理や清掃などを行うことで緑があふれるまちを創る。《協働》
- ②駅周辺を喫煙・ポイ捨て・駐輪禁止地区に指定し、市民による見回り隊を行政と警察のバックアップ付きで結成し、マナー向上を図ることでまちの美化を進める。《協働》
- ③建物の壁面・屋上などを緑化する。《協働》
- ④みんなでまちを綺麗にするという意識を醸成する。皆で毎日ゴミを一つ拾えば綺麗なまちが実現するなどまちの整理整頓をすすめる。《市民主導》

4. 歩いて暮らせるまちづくり

マイカー依存から公共交通主体のまちにすることで、エコで安全なまちをめざす。

- ①タウンくるのルートや便数の充実によりバスの利便性を高めるとともに、市民も積極的に利用するよう心がけることで、公共交通システムを維持する《協働》
- ②拡幅が困難な道路は一方通行等にして、歩行者・自転車の空間を確保する。「道路幅 幅だけの道の使い道」（標語）《行政主導》
- ③平坦な地形を生かし、自転車のまちにする。自転車走行空間の確保のほか、歩行者との共存のためのマナー向上、レンタサイクルの充実、駐輪場の整備・有効活用など総合的な自転車環境の整備を行う。《協働》

5. まちづくりでひとづくり

これからは、市民と行政が協働でまちづくりに取り組み、多様化・高度化する生活ニーズに応えていかなければならない。そのためには市民や企業等がまちづくりに関心を持つことが第一であり、行政は積極的にまちづくりに関する情報を発信するとともに、協働のまちづくりを進める中でひとづくりをする必要がある。《協働》



1時預りを除く
16時
7月3日調べ

香里園才3自転車駐車場

3F 駐車スペース 981台 料金 1,500円

駐車台数 $200台 \times 1,500 = 40,000-$

$900台 \times 1,000 = 900,000-$

2F 駐車スペース 931台 料金 2,000円

駐車台数 $505台 \times 2,000 = 1,010,000-$

$900台 \times 1,500 = 1,350,000-$

1F 駐車スペース 270台 料金 2,300円

駐車台数 $270台 \times 2,300 = 621,000-$

$270台 \times 2,000 = 540,000$

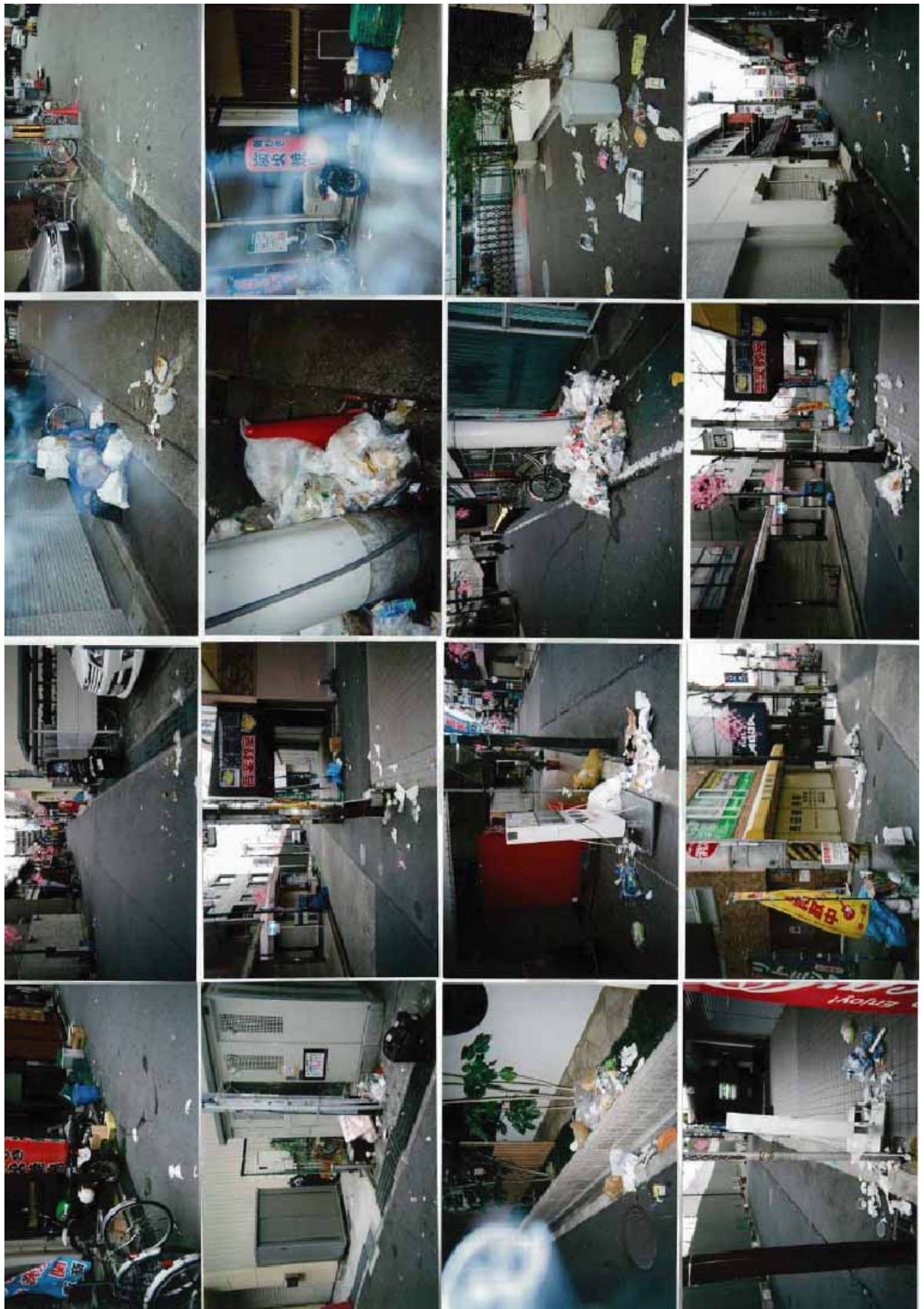
料金については
民間駐輪場
との兼ね合いを
ご考慮下さい。

現在の料金での1ヶ月の売上 1,671,000

値下げした場合の1ヶ月の売上 2,790,000

↓
1ヶ月の売上げ増額分 1,119,000

ゴミ収集場所の状況



<猫、鳥>

ゴミの出し方についてのお願い！！

深夜から早朝にかけて生ゴミの中にある餌を目当てに猫やカラスがゴミ袋を破り周辺に散らかします。

また、カラスの糞が道路一面を汚します。白い液状の物がそれです。特に飲食店の生ゴミがねらわれています。衛生上良くないことです。また、町や飲食街のイメージダウンとなります。ネット等の活用されてはいかがですか？是非工夫をお願いします。

放置自転車の追放にご協力ください

4月22日に市の道路交通課に放置自転車防止啓発指導活動の範囲を広げ、また厳しい指導をしていただくよう要望書を提出しました。

北小学校児童の安全な通学路の確保と通行人または買い物客が安心して利用できる道路と商店街にしたいものです。

万一の自然災害・不慮の火災・救急活動に支障を来すことになり、町の衰退につながり、町全体の資産価値の低下を招き、町の大きな損失と考えますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。